

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
1	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模・大規模公園にカフェやワークシェアリングスペースを導入(穴川中央公園、花島公園、千葉公園、千葉ポートパークなど) 【目的】 ・平日の昼間の賑わいを創出(高齢者・リモートワークする人向け) ・高齢者やリモートワーク者の運動不足解消(カフェ&運動、ワーク&運動) ・公園内もしくは公園隣接地であれば眺望が良いのでリラクゼーションに最適(インスタグラム等のSNSで話題になればよりにぎわう) 【考えた理由】 ・健康のために公園に行こうと思っても、カフェなど休むところがないと、動機づけが弱い。疲れた時に休む場所がないのは不安。 ・ワークシェアリングスペースが増えているが、たいていは室内で窓からの眺望もなく閉塞感を感じ、精神衛生上よくない。 ・千葉市は政令指定都市の中で一人当たりの公園面積が広いということで、公園の豊富さは常々ありがたいと親子で感じているところであり、この資産をもっと活用できればと感じる。 	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
2	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 公園の植物にネームプレートを設置。 ・木や花が素敵だなと思っても、名前が分からないと記憶に残りにくい。 ・子どもにとっては季節の植物に親しみきっかけになる。 	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
3	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・公園にもっとベンチを(できれば屋根付き) ・特に高齢者など、疲れた時に休む場所が必要。日光浴も大事だが座る場所がないまたは限られていると、公園にわざわざ行くことはハードルが高い。 ・できれば、簡易の屋根があると、日差しが強い時でも涼むことができる。 	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
4	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停にもっと屋根とベンチを設置 ・熱中症予防や雨天時に助かる。 ・高齢者等が出かける時、バスに座るところがあれば心理的ハードルが下がる ・歩道などにバス停ごとに屋根があれば、暑い時期でも少し涼む場所ができる 	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
5	-	-	<p>まちづくりの主管課が必要に感じます。今は自治推進課、高齢福祉課、住宅対策課、都市政策課とさまざまなセクションが絡んでいます。都市政策課を改組するのがいちばんよいのでは、と今回の原案を拝読して思いました。</p>	<p>引き続き、庁内関連部署が連携を図りまちづくりに取り組んで参ります。</p>	
6	-	-	<p>「フォント」は、「ユニバーサルデザインフォント」を採用すること。 図、表の欄外にある説明文の文字の大きさも、本文と同じ大きさにして欲しい。</p>	<p>高齢者や障害者等を含め、あらゆる人が情報を受け取りやすくなるよう努めます。</p>	
7	-	-	<p>図、表の色彩は、色覚障害者に配慮した色(カラーユニバーサルデザイン)を使用すること。 色弱の人【障害のある人に対する情報保障のためのガイドライン】 https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/shougai-kurashi/jouhouhoshou/guideline/1-13.html</p>	<p>高齢者や障害者等を含め、あらゆる人が情報を受け取りやすくなるよう努めます。</p>	
8	-	-	<p>千葉市の地図には、区界を追加すること。</p>	<p>図表には説明に必用な線などを図示しております。</p>	
9	-	-	<p>千葉市の地図記号は、地図記号によるものとする。 地図記号一覧 https://www.gsi.go.jp/kohokocho/map-sign-tizukigou-2022-itiran.html</p>	<p>各図面は、計画の内容を分かりやすく表現したものであり、詳細な位置関係を明示するものでないことから、図面の修正は行わないこととします。</p>	
10	-	-	<p>用語の統一を図ること。 ・東京国際空港:羽田空港 ・成田国際空港:成田空港 ・一級河川印旛放水路:印旛放水路(花見川):花見川 ・概ね:おおむね(公用文作成の手引(第七次改訂版)準拠する) Etc.</p>	<p>正式名称にて用語を統一することとしており、一部修正します。なお、一級河川印旛放水路、花見川の名称については、市民への分かりやすさを考慮し、使い分けております。</p>	○
11	-	-	<p>図、表の解析度が低すぎる。 また、小さすぎて判読できない。A4横長にし、1点だけとする。</p>	<p>データの容量の関係から画像の解像度が低くなっていますが、図表の記載内容が判読できるよう努めます。</p>	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
12	-	-	4桁以上の数に用いられるコンマ(,)と小数点に用いられるピリオド(.)は、半角にできないのか。	数字については、分かりやすく判読できるよう努めます。	
13	-	-	14号、357号の本文、地図で、明確にして欲しい。	国道14号、357号については、「第4章第4節千葉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針付図(P4-27)」に記載しています。	
14	-	-	2週間では、内容を精査する時間がありませんでした。各部署で作成したものを他の部署の方にも見てもらい、記述、用語、内容の統一を図ってほしい。	頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。	
15	-	-	検見川・真砂スマートチェンジが、出でておりませんでした。残念です。	検見川・真砂スマートICについては、「第7章第2節ちば・まち・ビジョンの実現に向けた取り組み(P7-12)」に記載の「広域ネットワークを構築する道路整備」に含んでいます。	
16	P序-2~ P序-3	序章第2節	『目標5「千葉市といえばここ」がすぐに思いつく』に対する具体策が乏しいように感じます。貴市では、「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」において4つの地域資源(加曽利貝塚、千葉氏、オオガハス、海辺)を活用してシビックプライドの醸成を図っていますが、同戦略との相乗効果を図るような取り組みが求められると思います。	頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
17	P序-3	序章第3節 位置づけ	<p>【意見】 ・第5章・第5節防災指針、防災指針の位置付けのイラストにもあるとおり、ちば・まち・ビジョンの位置付けのイラストへも千葉市国土強靱化地域計画との関連性を明確に記載することを提案します。<別紙参照> (理由) 千葉市国土強靱化地域計画では国の国土強靱化地域計画策定ガイドラインによれば、市が策定する国土強靱化地域計画は、国土強靱化における市の様々な分野の計画・取り組みの指針となる「アンブレラ計画」としての性格を有することとされているため。※千葉市国土強靱化地域計画 3計画の位置付け P3</p>	ちば・まち・ビジョンの位置づけ(序-3)は、都市計画法及び都市再生特別措置法などの都市計画法分野に係る計画を記載しております。	
18	P1-1~P1-22	第1章(全体)	「第1章 都市づくりとまちづくりの課題整理」は、主に統計データに基づいて課題を抽出していますが、現行計画や基本計画において、どのような施策・事業に取り組んできてその成果はどうか、KPIの達成状況はどうか、といった視点でも課題を抽出すべきです。	当該ビジョン(原案)につきましては、令和3年8月に「千葉市都市計画見直しの基本方針」を策定し、同基本方針に基づき策定しており、ご意見につきましては、同基本方針の中で整理しております。	
19	P1-14	-	円グラフ 白黒おかし	図表の記載内容については、分かりやすく判読できるよう努めます。	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
20	P1-17	第1章第2節 1 緑と水辺に関する課題 環境への配慮	【意見】 ・下記のとおり、修正することを提案します。公共交通や徒歩、自転車を中心とした移動が可能な市街地の形成等の施策により、脱炭素社会の実現を推進することが必要です。 (理由) 脱炭素先行地域に選定された計画を推進することにより地球環境保全を進め、持続可能な社会を創ることが重要と考えます。 (参考) 環境基本計画では環境政策においても、特定の施策が複数の異なる課題を解決するような横断的な施策を展開し、これらの課題の同時解決を通じて持続可能な社会を目指すことが重要です。あらゆるステークホルダーとの連携や環境と経済の好循環に向けて、特定の分野、特定の部門にとらわれない横断的な施策を展開することが必要となっています。特に、脱炭素という社会のあり方を変えるような環境課題の解決に向けては、さまざまな部門が互いに連携しつつ、それぞれの所掌の中で必要な施策を実施していくことが求められます。 ※環境基本計画 5横断的な施策 P50	頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
21	P2-9	-	「具体的な拠点の位置」が駅名とになっているが、それでよいのか(4-6参照)。	鉄道駅周辺を地域拠点として位置付けていることから、分かりやすいよう駅名を記載しています。	
22	P2-10	第2章第2節	医療研究の拠点において、千葉大学医学部、量子科学技術研究開発機構が含まれていない点は違和感を覚えます。	ご意見を踏まえ、医療研究の拠点として千葉大学医学部、量子科学技術研究開発機構を追加するとともに、凡例を以下のとおり修正します。 <修正(P2-10、2-11)> 医療研究機関等の集積を活かし、他産業との連携や先端技術を導入することで、新事業等の創出等を図る地域 【具体的な拠点】 千葉大学医学部、量子科学技術研究開発機構、千葉県がんセンター、千葉県こども病院など	○
23	P2-10	-	交通ネットワークの「ネットワーク」は半角でよいのか。 また、かっこ書きの「鉄道・道路・海運」文字は、凡例に移すべきではないか。	この図表の文字については、文字数の関係から半角を用いていますが、分かりやすく判読できるよう努めます。また、「鉄道・道路・海運」の文字は、凡例に記載します。	○
24	P3-1	-	「本市では、市内全域が一つの千葉都市計画地域(以下、「本地域」という)として決定されており、」とあるがどこで決定されたのが不明である。「以下、「本地域」という」とあるが、本市ではいけないのか。どのように使い分けを理解するのか。	千葉都市計画区域は、千葉県が都市計画区域として指定しています。なお、千葉都市計画区域について、「本区域」を用いています。	
25	P4-3	-	幕張・稲毛海浜公園の再整備 再整備はともよい。さらに美浜区は公園が多いのが利点の1つでもあるが、計画都市であるがあまり未使用の公有地などが多く不動産の流動性が小さく、結果としてテナント賃貸料も高止まりしており、地域ビジネスを展開しようとしても場所がないのが現状である。例えば一部の公園については用途限定し公園以外への用途変更を検討するなど、公有地の用途について総合的な見直しをはかってほしい。	頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
26	P4-3	-	「幕張海浜公園」(2ヶ所)の表記は、「千葉県立 幕張海浜公園(A、B、Cブロック)」に改め、千葉市が管理し管理運営事業者委託している旨を面記すること。	幕張海浜公園の記載は、現行のとおりとさせていただきます。なお、管理者や管理手法については記載しません。	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
27	P4-4	第4章第1節 2環境配慮に関する方針	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の文章への修正を提案します。 <p>■都市づくりの分野においても、限りあるエネルギー、資源の有効活用や再生可能エネルギーの導入を促進します。</p> <p>(修正前) (修正後) 再生可能エネルギー → 再生可能エネルギー等</p> <p>(理由) 再生可能エネルギー導入だけではなく、環境対応機器の導入の促進など様々な取り組みが必要と考えます。</p> <p>(参考) 千葉市再生可能エネルギー導入計画改定版には本計画では「再生可能エネルギー等」を以下のように定義し、千葉市の特性に合致するものについて導入を推進します。 ※千葉市再生可能エネルギー導入計画(改定版)(5)「再生可能エネルギー等」の定義 P 1</p>	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
28	P4-6	第4章第2節 1 土地利用に関する方針	<p>貴市では、産業用地の枯渇化を受け、産業用地整備方針を定め、今後10年程度の産業用地整備について計画的に検討を進めていく計画であることから、b. 工業地の記載においても新たな用地の整備を記載すべきと考えます。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、P4-9「第4章第2節1土地利用に関する方針④市街化調整区域の土地利用の方針」の「e流通業務地」に記載しております。なお、関係機関との協議を踏まえ、記載内容を以下のとおり修正しています。</p> <p><修正(P4-9)> d 秩序ある都市的土地利用の実現 ■～(略)～ ■東関東自動車道などのインターチェンジ周辺などにおいては、農林漁業との健全な調和を図り、開発許可制度や地区計画制度などを活用し、交通利便性を活かした流通業務地の形成を目指します。</p>	○
29	P4-11	第4章第2節 2 都市交通ネットワークに関する方針	<p>①コンパクト・プラス・ネットワークを目指すうえでMaasのレベル引き上げを追求していくことが不可欠です。当該ページにはMaasの単語こそ登場していますが、Maasの導入によって何が変わるのか、千葉市型コンパクト・プラス・ネットワークの構築にどのような貢献があるのかがみえてきません。Maas導入で目指すネットワークの将来像に言及すべきかと思えます。</p> <p>②MaaSの取組においては幕張新都心における特区の取組(モバイルコンソーシアム)も意識した方が望ましいと考えます。</p>	<p>ご意見を踏まえ以下のとおり修正します。また、頂いたご意見②につきましては、個別施策の検討における参考とさせていただきます。</p> <p><修正(P4-10)> ■公共交通のバリアフリー化の推進や鉄道・バスなどの交通結節点の機能強化を進めるとともに、テクノロジーの進展に伴う新たな移動手段やMaaSなどの新たな交通サービスを活用し、人々が自由に移動できる魅力的な移動環境を創出し、安全・安心で、地域の暮らしを支える持続可能な交通サービスの実現を図ります。</p>	○
30	P4-13	-	<p>場所を地図で示して欲しい。豊砂駅はないのか。</p>	<p>第4章に記載する「各分野の方針」を「第4章第4節千葉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針付図(P4-27)」に図示しておりますが、全ての内容を網羅的に図示することは困難であることから、地図に示さないこととしております。</p> <p>また、幕張豊砂駅については、本ビジョン策定時点で供用開始が見込まれているため、P4-13に記載しておりませんが、P4-27に図示しております。</p>	
31	P4-17 P4-18 P4-19	-	<p>場所を地図で示して欲しい。</p>	<p>第4章に記載する「各分野の方針」を「第4章第4節千葉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針付図(P4-27)」に図示しておりますが、全ての内容を網羅的に図示することは困難であることから、地図に示さないこととします。</p>	
32	P4-25	第4章第2節 2 身近な安心の確保に関する方針	<p>路上喫煙・飲酒や公道上のスケートボード走行など、千葉駅周辺の治安・風紀は改善が求められる状況にあります。千葉駅周辺の住宅開発が進んでいるからこそ、同エリアにおける安心して暮らせる住環境の整備が急務であり、この点に関する施策の充実を期待します。</p>	<p>ご意見のとおり千葉駅周辺は、昨今、再開発の動きが活発化してきており、住居系用途も多いと認識しておりますので、頂いたご意見は、今後、個別の事業検討における参考とさせていただきます。</p>	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
33	P4-27	-	大規模施設用地・大学等・供給処理施設用地は、それぞれ別離色で示して欲しい。	第4章に記載する「各分野の方針」を「第4章第4節千葉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針付図(P4-27)」に図示しておりますが、全ての内容を網羅的に図示することは困難であることから、地図に示さないこととします。	
34	P5-4	-	市街化調整区域、農用地区域、農地・採草放牧地、保安林の区域、急傾斜地崩壊危険区域、災害危険区域、土砂災害特別警戒区域等を地図で示して欲しい。	市街化調整区域についてはP5-2で示しておりますが、その他の区域については市内各地に点在しており、図示した場合と膨大なページ数になることから示しておりません。	
35	P5-8	-	従来の縦割りで考えずに、重層的支援体制の発想があるとなおよいと思います。例えばばらばらと建物を建てるのではなく集約化をはかってほしい。子育て支援施設と高齢者向け施設が1つの建物に入っている例は他自治体では当然ですが千葉市ではきぼーなど数少ない。美浜区も例えば磯辺スポーツセンターなどまだ使える土地はあると考えます。	頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
36	P6-2	-	幕張新都心と一体と考えられがちな検見川浜・稲毛海岸地区ですが、今回稲毛駅地区と一体としてまとめられたのは、地元住民の感覚にも最も近くすばらしいと思いました。	評価を頂きありがとうございます。 当該ビジョンの目標実現に向け取り組んで参ります。	
37	P6-10	第6章第2節 4 千葉都心エリア	良好とはいえない難い治安・風紀が千葉駅から中央公園までの人の導線を細らせているなど、駅から街中への人の流れを生む環境整備が後れています。モノレールの利用促進策と併せ、駅周辺の回遊性を高める取組を具体的に明示すべきと考えます。	駅周辺の回遊性向上に資する具体的な取組みにつきましては、「第7章第2節1ちば・まち・ビジョンの実現に向けた取組みの展開」に記載しています。頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。 ＜ちば・まち・ビジョンの実現に向けた取組みの展開(抜粋)＞ ○市街地整備に関する取組み(P7-15) 千葉駅東エリア(西銀座周辺)の再開発、千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備事業など ○都市空間に関する取組み(P7-17) 中央公園・通町公園の連結強化、千葉駅周辺における官民連携まちづくり(ウォーカブル推進)など	
38	P6-11	第6章第2節 4 千葉都心エリア	①ちば・まち・ビジョンの目標の1つに「ウォーカブル(歩きたくなる)」とありますが、それにつながる施策的な取組の記載が少ないと感じます。P6-11の都市づくり・まちづくりの方向性に「C.ウォーカブルなまちなかづくり」がありますが、例えば、千葉市は国土交通省が推進する「ウォーカブル推進都市」であることや、以前に実施した「ウォーカブル推進社会実験」として、飲食店に道路上や公園でのテラス席設置などを認めた社会実験の内容やその効果などについて紹介した方がよいと思います。 ②千葉みなとエリアは、千葉みなと棧橋公園や千葉県立美術館、千葉ポートタワー、千葉ポートパーク等を擁する高いポテンシャルを有するエリアであり、千葉港については工業地として以外に、地域の親水空間、賑わいエリアとして大きな存在感があります。千葉都心エリアの特徴として、これらの魅力ある地域資源について触れながら、千葉みなとエリアの現状評価と、今後のまちづくりの方向性について追記することを提案します(上に記載したような内容に少し触れて、ポートタワーが千葉県立美術館の写真を1枚入れるだけでも大分違うと思います)。 現行基本計画のP46では「実現すべきまちの個性」として千葉みなとエリアの「海を活かしたにぎわい」を例示しており、上位計画との整合という観点からも千葉みなとエリアのにぎわいに関する記載が必要です。	ウォーカブルの取組みにつきましては、「第7章第2節1ちば・まち・ビジョンの実現に向けた取組みの展開」の「○都市空間に関する取組み(P7-17)」に具体的な施策を位置付けております。 千葉都心エリアにつきましては、千葉みなとに位置する千葉ポートパークや千葉中央港地区の水辺空間などの地域資源を踏まえ、エリアの将来像や都市づくり・まちづくりの方向性を示しております。	
39	P6-12	第6章第2節 5幕張新都心エリア	幕張新都心に最も欠けている機能は、エリアマネジメント組織がないことです。柏の葉(柏市)の「一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンター」、横浜みなとみらい21の「一般社団法人横浜みなとみらい21」、さいたま新都心の「一般社団法人さいたま新都心エリアマネジメント」のようなエリアマネジメント組織を早急に立ち上げることが街のさらなる発展には不可欠だと思えます。	ご意見の幕張新都心におけるエリアマネジメント組織につきましては、「第7章第2節1ちば・まち・ビジョンの実現に向けた取組みの展開」の「○都市空間に関する取組み(P7-17)」に「幕張新都心まちづくり連携促進」を位置付けており、同組織の組成に取組んで参ります。	
40	P6-13	-	機能のにじみ出しに例えば検見川浜地区は含まれているのでしょうか？	幕張新都心エリアを示しておりますので、検見川浜地区は含まれておりません。	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
41	P6-13	第6章 第2節 5 幕張新都心エリ	幕張豊砂駅をどのように活かしていくかについての方向性を示すべきと感ずます。駅周辺には一般住居がほとんどなく、何も方向性を示さなければせっかくの新駅が商業施設利用のためだけの駅になってしまうのではないかと危惧しています。	「第6章都市を構成する要所(ツボ)となるエリアの方向性」は、都市デザインによる取組みを進めるため、「エリア内の市民や事業者のまちづくりに対する共通認識として」「エリア内のまちづくり計画(地区計画・まちづくりビジョンなど)作成時」「エリアに関わる施策の実施にあたり、エリアの特徴に沿った事業とする」場面で活用するため、各エリアの特徴、課題、将来像を示しております。 ご意見につきましては、個別施策として、幕張新都心地区都市再生整備計画を策定し、幕張豊砂駅を含め幕張豊砂地区を「滞在快適性等向上区域(まちなかウォークアブル区域)」に指定し、立地企業などと連携した幕張プレイスメイキング実証実験の実施など、同エリアにおけるひと中心へのまちづくりへの転換を進めております。	
42	P6-16 ~6-17	-	エリア内に滞在や交流する場所を形成→これを民間でやりたいくても土地もハコもないのが実情です。であれば公で整備するなりハコを作っていたらどうか、民間に払い下げていただきたい。ベイパークを見る限り民間に任せたい方がうまくいくのでは？例えば検見川浜駅前磯辺側の平面駐輪場用地も候補の1つでしょう。稲毛ヨットバーバーの建物の活性化などもいいかもしれません。	滞在や交流する場所づくりにつきましては、例えば、民間敷地のオープンスペースにベンチを置くなど、官民のパブリック空間を活用した取組みも考えられることから、官民一体となり小さな取組みであってもできることから取組み、また、その取組みを繰り返していくことが大切だと考えております。 頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
43	P6-18	第6章 第2節 8 モノレール沿線	モノレールの活用は沿線エリアの重要な課題だと思ひます。都市づくり・まちづくりの方向性に「b. モノレールを賢く使いこなす」、「移動だけでなく新たな付加価値を付与する」とありますが、具体的な内容がわからないと感じました。観光的な活用としては車両・車庫見学ツアー、鉄道ファン向けの写真撮影会、貸し切りピア列車などが考えられますが、観光以外の活用案も含めて具体的な記載があるとよいと思ひました。	「第6章都市を構成する要所(ツボ)となるエリアの方向性」は、都市デザインによる取組みを進めるため、「エリア内の市民や事業者のまちづくりに対する共通認識として」「エリア内のまちづくり計画(地区計画・まちづくりビジョンなど)作成時」「エリアに関わる施策の実施にあたり、エリアの特徴に沿った事業とする」場面で活用するため、各エリアの特徴、課題、将来像を示しております。頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
44	P6-19 P7-12	第6章第2節 8 モノレール沿線エリア 第7章 第2節 1 取組みの展開	モノレールは朝夕のラッシュ時は大変混雑し、車内もホームも人がひしめき合っており、危険を感じます。第6章には「■モノレールをより生活に身近な交通移動手段として充実させるとともに、『質の高いインフラ』として移動だけではない新たな付加価値を付与していく。」との記載があります。このためには、モノレールの車両数の増加及び増便等により現状を改善することが求められると考えますが、「第7章 ちば・まち・ビジョンの実現に向けて」の「○鉄道に関する取組み」では、これらについて触れられておらず、現状把握及び課題抽出が不十分と感じます。	頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
45	P7-5	-	身近な公園とは？例えば真砂中央公園、中磯辺公園などは、カフェなどが集まる場があってもいいくらいの公園だと思う。今の使われ方では本当にもったいない	身近な公園は、生活圏内であって、徒歩で行ける範囲にある公園全般のことを指しています。 頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。	
46	P7-7	第7章第2節 ○環境配慮に関する取組み(1/3)	【意見】 ・事業概要に記載されている「2050年カーボンニュートラル達成のため」の表現は全て削除することを提案します。 (理由) 2050年カーボンニュートラル達成のためとの記述は、全項目に共通する目的なので個別の事業に記載するのは不自然と考えます。	現在、策定を進めている第1次実施計画の計画事業の記載内容と整合を図り事業概要を記載しておりますが、実施計画の修正にあわせ、「第7章第2節実現に向けた取組み」の記載内容を修正いたします。	

■ちば・まち・ビジョン(原案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
47	P7-7	○環境配慮に関する取組み(1/3)	<p>【意見】</p> <p>・下記のとおり、追記することを提案します。</p> <p>事業名：省エネルギーの一層の推進</p> <p>事業概要：省エネ家電の導入及び高効率給湯器の導入促進</p> <p>(理由)</p> <p>脱炭素社会の実現に向けては、まずは徹底した省エネルギーを進めることが重要と考えます。</p> <p>(参考)</p> <p>第6次エネルギー基本計画では 2050 年カーボンニュートラル、また、野心的な 2030 年度の温室効果ガス排出削減目標 の実現に向けては、徹底した省エネルギーを進める。</p> <p>※第6次エネルギー基本計画P4 1</p>	<p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
48	P7-22	第7章第2節 1 取組みの展開	<p>市内では道路・歩道の陥没や、樹木や雑草で通行困難な道路・歩道、夜間照明のない(または暗い)道路・歩道が目立ちます。第7章に掲げられた事業には「道路施設の長寿命化;道路利用者の安全・安心を確保するため、個別施設計画に基づき、道路施設の計画的な点検・補修を行います。」「舗装の新設・改良:道路を安全で快適に通行するため、舗装を新設・改良します。」とあります。これらの事業は現行の計画でも当然、取り組んできたものと思いますが、現状に鑑みて事業の成果が得られたとは言えないと考えます。新計画ではこれら事業をどのように改善していくのか、より踏み込んだ検討が必要ではないでしょうか。</p>	<p>道路等の維持管理につきましては、計画的な維持管理や長寿命化などを図るため、総合的な維持管理方針として「千葉市道路施設戦略的維持管理方針」を定め、同方針に基づき各道路施設の個別施設計画を策定し、メリハリのある維持管理に取り組んでおり、引き続き、計画的な点検や修繕を実施していくことで考えております。</p> <p>頂いたご意見は、関係課とも共有し、今後、個別施策の検討の参考とさせていただきます。</p>	
49	P7-24	-	<p>重層的支援体制の考え方を盛り込むお考えはありますか？</p>	<p>当該ビジョン(原案)は、都市計画分野の計画であることから、社会福祉法による重層的支援体制の考え方をそのまま盛り込む考えはありませんが、重層的支援体制の考え方の基となっている、地域住民や地域の多様な主体が分野や属性の壁を越えた協働を実践し、誰もが支え合う地域を創っていくという地域共生社会の考え方と類似したものとして、第7章第1節に多様な主体との連携によるまちづくりの推進を記載しております。</p>	
50	P7-27	第7章第2節 2 近隣自治体との連携	<p>千葉市は「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」等において「ちば共創都市圏」の形成を標榜し、周辺自治体との連携強化を重要課題と位置付けています。一方、近隣自治体との連携に関する当該ページの記述は集客施設の立地に関するものに留まっていますが、自治体間の連携が重要となる分野は医療体制、交通ネットワーク、災害時の避難体制など多岐に亘っており、こうした面についての連携方針にも言及すべきかと思えます。</p>	<p>ご意見を踏まえ以下のとおり修正します。</p> <p><修正(P7-27)></p> <p>本市は千葉県の県都として、本市だけでなく近隣市町村を含んだ都市圏を形成しています。そのため、都市機能のなかでも広域からの集客を見込む施設、交通ネットワークや災害時の対応等については、本市の状況だけでなく近隣市町村の状況を考慮し対応を検討する必要があります。</p>	○
51	P7-28 P7-30	第7章 第3節 1 都市構造に対する 2 都市空間に対する評価	<p>「第7章 ちば・まち・ビジョンの実現に向けて」には多くの事業が掲載されていますが、評価指標は、都市構造(ハード)が11項目、都市空間(ソフト)が6項目と極めて少なくなっています。事業と評価指標が1対1ではないことは理解できますが、施策・事業の効果を評価し改善につなげていくといったPDCAサイクルを効果的に回していくためには、評価指標の数が足りないのではないのでしょうか。</p>	<p>ちば・まち・ビジョンの目標の達成状況を評価するため、指標を厳選し設定しています。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>	